

第1回 名鉄知多武豊駅西グランドデザイン策定委員会 議事録

日 時：令和3年9月7日（火） 13:30～15:00

場 所：武豊町役場 第2・3・4会議室

出席者：千頭 聡（日本福祉大学教授）、加藤 武志（中京大学講師）、
脇本 裕司（代理：内藤 真一）（名古屋鉄道㈱中部支配人）、
榊原 鉄弘（地元代表長尾部長）、山下 紘史（公募）、長谷川 雄紀（公募）、
村田 千代（公募）、花田 鮎美（公募）
小井手 秀人（代理：菅沼 克文）（愛知県都市計画課長）、
内山 敬士（知多建設事務所企画調査監）、
小坂 勘太郎（知多中部広域事務組合消防本部半田消防署武豊支署長）

議 事：（1）名鉄知多武豊駅西 GD 策定方針について
（2）名鉄知多武豊駅西 GD 検討区域（案）について
（3）アンケート調査について
（4）今後のスケジュールについて

【会議概要】

議事（1） 名鉄知多武豊駅西 GD 策定方針について

委 員：JR 武豊駅から名鉄知多武豊駅までの道路は 90 度のカーブがあったりするので、きちんと整備するとよいと思う。

駅西エリアについては、人が多いとそれだけで楽しいので、人の多いまちになるとよい。

委 員：駅西エリアにはドラッグストアやコインパーキングがあり、それはそれで便利だと思うが、家族などと散歩するときに気軽に入れる店や、地域の人が簡単に立ち寄れるような店が増えると、人が集まりやすいまちになるのではないか。

委 員：名鉄の踏切を高架化にし、その下を有効利用すると、にぎわいが生み出せると思う。

委 員：電車通勤・通学をする人にとっては駅で過ごす時間が多いため、駅やその周辺で時間がつぶせるところが多いまちづくりができるとうい。

委 員：駅前のにぎわい創出は、ただ駅ビルを作るのではなく、「なぜわざわざ武豊に住むのか」を考慮して、武豊らしい駅前を作ってほしい。緑の豊かさなど、郊外へ住むメリットも駅前で活かせるとよい。

会 長：委員にとっては、武豊に住む良さは何か。

委 員：最初のきっかけは武豊町の地価が安い、電車の始発駅であることだった。実際に住んでみると、周りに医療施設が充実しており、周辺の居住環境も住み心地がよいと感じている。

委 員：知多武豊駅前は一方通行の道路が多く、周辺をよく知らない人だと迷うことも多いだろうと思う。駅周辺のアクセスでいうと、東側からも西側からも駅に向かう人がいると思うので、交通量調査を実施するときに、駅周辺の交通状況を全体的に把握できるような調査ができると、駅へのアクセスの解析に役立つと思う。

委 員：駅へアクセスする道路は使いにくいという意見をよく聞くが、道路は順次整備されていくと思

う。駅を多くの人に利用してもらえることは非常に良いことであり、それらの観点も含め、計画を考えていただけるとよい。

対象区域を回ってみたが、都市拠点の方は平らで、雰囲気の良いまちができており、駅の西側は新しいまちであり、高台に位置しており、違う雰囲気を持っている。そのような駅の西側と東側のそれぞれの特徴を生かしたまちづくりができるとよい。

委員：駅前ロータリー、駅の整備については、利用者が利用しやすいように、進めていきたい。

委員：駅へのアクセスしやすさは大事である。駅周辺の使いやすさからみると、一方通行や進入禁止のエリアはないほうがよいと思う。警察との交渉を含め、考慮をしていただきたい。

副会長：ハード整備についてのご意見は多くいただいている。課題を解決するために、ハード整備が重要だが、その他に、どう関わるか、どのような仕組みで進めるか、人の動きや気持ちを合わせて考えていく必要がある。そのまちにあったやり方でまちづくりを進めることが大事である。

会長：地域住民は駅西でどのような生活をするか、どのような集い方をするかなど、生活のイメージを持つことがまちづくりにとって必要だと思う。駅前に都市機能の集積や交流拠点の形成などを謳っているが、実際に知多半島では駅前の拠点づくりが成功した事例はなく、整備された知多半田駅前の半分以上はコインパーキングになっている。

駅西グランドデザインを検討する際に、住民と駅前をどのような使い方をしたいのか、駅前でどのように暮らしたいのかといった議論をしてほしい。

P6に、武豊町は「ゼロカーボンシティ宣言」をしており、実際に知多半島では半分以上の自治体が「ゼロカーボンシティ宣言」をしている。できれば、武豊町の駅西エリアは「ゼロカーボンシティ」に向けたモデル的なまちになるとよい。それはCO₂の排出を我慢するのではなく、新しい技術を活用し、最先端の暮らし方をしているからこそ、「ゼロカーボン」が実現できているという夢を描けるとよいと思う。

議事（２） 名鉄知多武豊駅西 GD 検討区域（案）について

会長：検討区域の南側に生活利便施設集積エリアがあり、「生活利便施設（商業施設等）の充実を検討」と書かれているが、利用する人がいないと施設だけを集積しても意味がないため、利用者を含めて検討する必要がある。

道路についても、人々の行動から整備する道路を考えていき、エリア間をつなげるような道路を検討するとよい。

委員：駅周辺にある大規模な商業施設などには電車帰りのついでではなかなか行かないので、車で行くことが多い。しかし、そこへ向かう車は駅前を通ることになり、交通量の負担になる。車で行くエリアと電車で行くエリアを整理し、パークアンドライドの施設があるとよい。

会長：駅前の広域的な交通量調査を実施するとよいかもしれない。

議事（3） アンケート調査について

委員：検討区域周辺や駅利用者だけでなく、武豊町全体へアンケート調査は実施した方がよいと思う。

事務局：武豊町の総合計画の中間指標を得るためにアンケート調査を実施しており、駅西グランドデザインに関する設問を数問入れてある。今回実施するアンケートでは、特に駅西エリアの関係する地域住民の感触を伺う予定である。

委員：○を付ける方式は集計にも、回答にもやりやすい方式だと思うが、回答者の具体的な意見が書ける場所があってもいいと思う。

委員：利用者アンケートは利用しない方の意見は聞けないが、利用していない方の利用しない理由についての意見を聞けるところがあるとよいと思う。

事務局：設問を追加できるかは検討する。

公園利用者アンケートについては、町民意識調査で武豊中央公園に限定していないが、公園を利用しない理由を聞く予定である。

委員：満足度・重要度の部分で、「やや」「まあ」といった表現が分かりにくく感じるため、もう少し簡単な表現はできないか。

事務局：アンケートに関する意見は9月11日までに出していただければ検討できる。

会長：郵送で回収できるようにしているが、QRコードでの回答はできるようにしないのか。

事務局：検討させていただきたい。

委員：公共施設のあり方について、今回のアンケート調査では含まれていないが、他の調査で実施する予定はあるのか。

事務局：公共施設に関する内容は今後別のアンケート調査で実施する予定である。

議事（4） 今後のスケジュールについて

意見なし

その他

副会長：本日皆さんの普段の生活からのご意見を多くいただいております。それは生活者としてのご意見である。第2回の会議は第1回の意見を踏まえつつ、テーマ設定を含めてもっと柔らかい形式で進めてほしい。

以上